

## 平成 28 年度事業報告書

### 1. 概況

日本の労働市場では、少子高齢化・人口減少の下で、景気の緩やかな回復基調が続いており、人手不足感が強まっています。

少子高齢化によって労働供給に制約がある中で、2012年末以降の景気の緩やかな回復基調に伴い有効求人倍率は上昇傾向が続いており、企業の手不足感は着実に高まっています。

今後については、団塊の世代が更に高齢化するに従い、人口動態的に労働供給に対する下押し圧力が高まることから、人手不足を緩和していくような取組を一層強化していくことが重要であります。

本町は、農・漁業及び観光業が盛んで、定年の無い業種の担い手となっている方が多くみられるため、会員の働く場が限られています。特に、公共施設の管理業務は多くの会員が望んでいます。

近年急速な人口流出による人口減少のため、60歳以上の人口比率が昨年度42.2%より0.7ポイント上昇し42.9%となり、地域の担い手としてこれまでに培った高年齢者の知識と経験を活かすことが期待されている方の会員加入が、昨年度より5人（男3人、女2人）減少し121人（男91人、女30人）となりました。

また、経常収益は、前年度比268万円減収の49,182,080円で、主な減収科目は受託事業収益の受取配分金105万円、県及び町の補助金143万円の減収になりました。経常費用では、前年度比122万円減額の49,504,406円で、主な減額科目は支払配分金105万円、人件費96万円、什器備品費24万円の減額、賃借料30万円、委託料19万円の増額でありました。

地域からシルバー人材センターへの期待が一層高まるよう会員一人一人の活動やボランティア活動を通して、その役割と活動を広く町民に理解してもらえよう、会員と役員が一体となり、活力ある地域社会づくりに貢献できるセンターを目標に事業を推進して来ました。

#### (1) シルバー人材センター事業

##### ① 就業受注事業

就業を希望する就業の機会を確保し提供しました。また、家事支援事業は高齢者世帯などの日常生活の応援を今後も支援していきます。

##### ② 各種研修会・講習会、職群班研修事業

センター事業を円滑に実施するため、役員及び会員を対象とした各種研修会などに参加し、資質の向上を図りました。

##### ③ 安全・適正就業対策事業

事業の実施にあたり、会員の安全かつ適正な就業を行うため、安全意識の向上、作業中の事故防止、就業形態の適正化を図るため安全委員会

を開催し協議しました。

④ 普及啓発事業

シルバー通信の年 2 回発行と啓発用チラシを作成し、会員及び各種団体に広く周知し会員を募りました。

⑤ 調査研究事業

シルバー人材センター事業発展のため、浜松市で視察研修を行い 37 名の参加があり、会員相互の親睦を図りました。

(2) 実施計画

① 運営体制の整備と強化

会員主体のセンター運営を目指しました。

② 会員の自主運営体制の強化

会員自身が、センター事業の基本的な理念及び仕事の仕組みを理解し、事業に取り組む体制づくり継続してきました。

③ 会員の加入促進

会員募集の拡充及び普及啓発を継続して行っています。

④ 就業機会確保普及啓発の推進

シルバー通信の年 2 回発行と啓発用チラシを作成し、情報の発信に努めました。

⑤ 安全就業・適正就業

会員の就業中及び就業途中の事故防止に一層努めるため、安全委員会を開催し、安全就業対策に努めました。

⑥ 会員の意識改革

シルバー人材センター事業が、地域住民から認められるように、ボランティア活動で会員 19 名参加し、南知多 J A 会館付近の草刈及び剪定を実施しました。

⑦ 職業紹介事業の推進

県連合と連携し、臨時的かつ短期的又は軽易な業務について、職業紹介事業を実施しました。

⑧ 公益社団法人としての適正な運営

公益社団法人として、適正な法人運営を図りました。

⑨ 会員表彰（定時総会表彰）

会員就業規約に基づき会員を表彰

第 10 条第 1 号該当 表彰状（10 年連続就業） 26 名

第 10 条第 2 号該当 感謝状（役員 4 年以上） 7 名